

備陽史探訪

備陽史探訪の会

福山市西深津町1863-2

神谷和孝方(電)0849-21-3940

通盛、小宰相のロマンを

秘すおて 神谷和孝

今回探訪の会では、平家落武者の集落とされている沼隈郡山南横倉の地を訪ねる事となった。平家落人の集落は北は東北地方から南は九州にまで、更に壱岐、対馬、種子島、奄美大島などの離島にわたって全国で100数ヶ所存在すると云われている。これらの集落は伯耆など平家にとつた伝説を有している。その伝説の最たるものは壇の浦で投身自殺をうけた事が定説となっている安徳天皇が生存しているという伝説であり、最近はこの伝説こそ史実であると主張する学者まで出てきた。我々が訪ねた山南横倉の地は通盛、小宰相のロマンを秘めた伝説を有する。平通盛は権中納言平教盛の子で、清盛の甥にあたり、花見の宴で見染めた鳥羽天皇の二女上西内院の侍女の小宰相とのロマンは平家物語の中でも特に有名であり、源氏との戦いで戦死した事になっている通盛が、実は小宰相と手をとり合つて、この地に隠れ住んだという伝説であり、横倉には通盛をまつる通盛神社があり、通盛と小宰相の木像がまつられている。また、通盛神社の近くの福宣坊には二人の墓が存在する。3月4日(日)、我々一行を載せて庚戸氏の車は沼隈のメインストリートを横断して横倉の地に入った。横鞍と昔は書いたその由来は、源氏のさびしい追求を逃れて、この地にたどり着いた平家の落武者が山を下る時、馬上の鞍が山をけわしいため横になったことか

訪ねて 落人伝説を



らたと言われる。
そのよけか
山に両側
はよき平
坦な地を
住む地と
定め
ヒツソリと
いて気高
く平家
のあつを
生きた。

目的地に到着した我々は
最初通盛神社を訪ねた。

前日の雨に石段や周囲の緑を洗われて
清々しい印象を受けた。

バスの便が一日に二便しかないこの地を訪れる人は
すくなくかと思われたが、よくこの地を愛している福
山市在住の黒倉愛三氏が寄贈された通盛神社に於ける
には長崎や関西方面からの人も訪れており、全国的にこの通盛
神社や横倉の地が著名である事を知った。

昼食は通盛神社の近くの福宣坊の寺堂でとらせてもらった。
この寺院の奥様に紫蘇茶をふるまっていたり、この地の
事について色々とお話した。食事をした後、福宣
坊の墓地にある通盛小宰相のお墓に詣でた。

我々はこの地を訪ねるにあたって、この平家の落武者の集落にまつわる

故事や、落武者の集落である事を実証する物件。現在にまで伝わる風習など。この地の長老の方に話してもらって、メモとめる心算でいいが、その長老の方は不在で、仕方なく、数人の老人に色々と質問を（いいが、メモの記入から具体的な答へは向一つ返ってこなかった。

全国の100数箇所にある平家の落武者の集落でも、メモ、確認するものは皆無に近いと云われるが、この横倉の地も例にもれないだろうか。

この地を訪れて、平家とのつながりを印象づけたのは唯一の事象は通盛神社の社殿のまわりに張ってある注連縄（ぬまわ）の注連の玉（切幣）が赤であった事がある。その赤を同調するかの様に、赤いつばきの花が地上に散っており、あわさを覚えた。

× 今まで、機関紙は、猪俣氏にお願いしてありましたが、仕事の都合上、タイプが打てなくなりまして。

紙上で、猪俣氏に対して、今までの御苦労を感謝しておきたい。

尚、これまで以上に、予算の都合が又まで、機関紙は、今回のように手作りでやりたいと思います。作製は、各月の案内者が、行い事にします。

× 今月の行事は、田口氏が担当する事になっておりますので、田口氏の手による当日の説明書と同封致します。

尚、当日、研修旅行の費用、2000円をお忘れなく。

ならざき ^{いまこうやさん}
 榑崎氏遺跡と今高野山

春です、史跡めぐりには最高の季節です。今回は吉備高原の西端、世羅台地を取り上げてみました。ここには中世高野山領庄園大田庄経営の拠り所となつた今高野山竜華寺や古代寺院との関連が注目される康徳寺古墳を始め多くの貴重な文化財が残っています。又、東隣の府中市久佐町の榑崎氏遺跡は居城と菩提寺の関連等中世豪族の存在形態を典型的に示す遺跡として貴重なものです、時間が許せば是非見たいものです。

① 榑崎氏遺跡
 (府中市久佐町、福塩線河佐駅より20分)

戦国時代、現在の府中市西(阪)に勢力を持
 った豪族が~~榑崎氏~~榑崎氏でその本拠朝日
 二子山城は石で組んだ大井戸、石垣、礎
 石等戦国期の山城の特色をよく残してい
 る。又、城下には菩提寺玉禅寺跡が残り
 、墓石も宝篋院塔の立派なものも現存し
 中世の面影をしのぶことができる。

(榑崎氏系図) ○ 源為義 — 湯原義廣 — 信康 領大和守多郎

中多清信 — 清富 — 豊貞 — 榑崎豊武 備後二屋住加賀守 — 豊貞 — 満景

宗豊 — 豊信 — 宗真 頼334死 — 通景 弘治2101死 — 豊景 河内氏 — 信景 莊司 — 元好 長州移住

